

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	アナライズ 1	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		開講時間			授業形態	演習
教科書/教材	配布資料						
担当教員情報							
担当教員	佐倉 繁			実務経験の有無・職種	有・作編曲家 プロデューサー		
学習目的							
音楽基礎クラス、音楽周辺クラスでの修得事項を統合し、作・編曲、トラック制作に必要なあらゆる事項を総合的に理解し分析することを目的とする。 1年次は4リズムセクションに関して徹底的に分析することにより修了制作における基礎を築くことになる。							
到達目標							
各セクションの分析をすることによりトータルな（4リズムセクションの）サウンドを構築できるようにすることを目標とする。 あらゆるジャンルにおける分析を行うことにより、独自のトラックを制作できるようになることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	基本情報を基に「それらの情報が音楽を形成する上でどのように機能しているか？」を楽器の実音体験、アンサンブル、他あらゆる観点から体感する。音楽情報、音楽周辺情報、ノートテイクによる統合と活用。 レポート提出、プレゼンテーションによる具体的な実践も含まれる。						
注意点	ノートの取り方を工夫する。毎回のノート記録を累積して情報の整理を行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	基本事項について			ノートの取り方、文書作成、メール文書、レポート作成方法			
2回	音の原理について①			振動・高さ・音程の組み合わせ			
3回	音の原理について②			倍音・コード種類			
4回	時間軸について①			Tempo、Beat Pulse			
5回	時間軸について②			Rhythm、Groove			
6回	音楽制作の流れについて①			作曲と編曲、現代の音楽の形について			
7回	音楽制作の流れについて②			Composition、Melody writing、Audio collectiveについて			
8回	トラック制作について①			モノラルとステレオ			
9回	トラック制作について②			マルチチャンネル、マルチトラック			
10回	トラック制作について③			DAWの利点と弱点			
11回	定位と距離感①			距離感の記録			
12回	定位と距離感②			距離感の操作			
13回	プレゼンテーションについて			アイデアをどう伝えるか？ストーリーをどうやって作るのか？			
14回	ライブラリーの構築について			音楽資料の整理とは？			
15回	前期まとめ			ノートをまとめ提出			